

シンポジウム「職業としての学問 細胞生物学の魅力  
ー私はなぜ生命科学研究者になったのか。」

1. 主催 日本学術会議  
基礎医学委員会 形態・細胞生物医科学分科会  
基礎生物学委員会 細胞生物分科会  
共催 日本細胞生物学会、日本解剖学会  
協賛 日本組織細胞化学会、日本顕微鏡学会、日本臨床分子形態学会  
日本医歯薬アカデミー

2. 日時 平成20年10月28日(火) 13:00~17:00

3. 場所 京都大学 芝蘭会館稲盛ホール(京都市左京区吉田近衛町)

4. 次第  
(開催趣旨)

学術会議の「細胞生物学分科会」と「形態・細胞生物医科学分科会」は、これから大学院へ進む学生、博士課程へ進もうとしている大学院生などを対象に、サイエンスの面白さを伝えるとともに、若手研究者の育成を通じて将来の日本のサイエンスのアクティビティを確保する必要があるとの認識から、細胞生物学分野の第一線で活躍している著明な研究者による上記シンポジウムを合同で開催する。それぞれの先生の体験、考え方などを通じてサイエンスの面白さとその意味を語っていただき、若い研究者の卵たちの研究に対する興味と関心を引き出すことにより、基礎研究を志向する学生、大学院生が増えることを期待している。

(プログラム)

講演者:

- 郷 通子(お茶の水女子大学 学長)  
竹市 雅俊(理化学研究所、発生再生センター長)  
吉田 賢右(東京工業大学 資源化学研究所長)  
成宮 周(京都大学大学院医学研究科教授)  
山中 伸弥(京都大学再生医科学研究所教授 I P S細胞研究センター長)

世話人:

- 永田 和宏(京都大学再生医科学研究所教授)  
塩田 浩平(京都大学 副学長)

5. その他

- (1) 入場無料 先着230名  
(2) 問い合わせ先 TEL 075-751-3848